

ニュース

★★★
NEWS早わかり
協力・共同通信編集委員 遠藤一弥

ISから奪還された後、日常が少しづつ戻りつつある
ISの学校 (Foto: Falk Nielsen/NurPhoto)

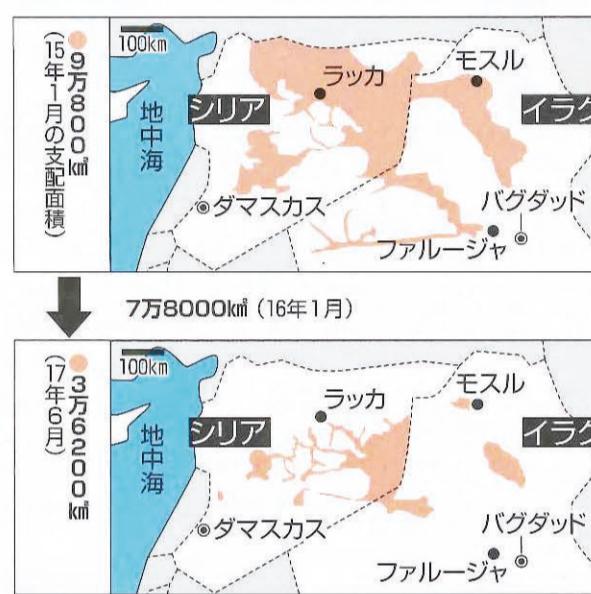
イスラム国

IS拠点モスル陥落



イスラム国(IS)を巡る経過

2014年6月	IS前身組織がモスル制圧。国家樹立を宣言
9月	米軍がシリアでIS標的の空爆開始
16年6月	イラク軍がファルージャをISから奪還
17年7月9日	イラク首相がモスル陥落を発表



弱体化も「壊滅」はせず

イラクのアバディ首相は7月10日、過激派組織「イスラム国」(IS)が占拠していた同国北部モスルを奪還、3年に及んだ戦闘に勝利し「虚構の国は崩壊した」と宣言した。重要拠点を失ったISの弱体化は決定的で、国際社会が最優先課題とするIS掃討作戦の大きな節目となった。

「人間の盾」住民犠牲に

④モスルはどんな都市?

モスルはイラク第2の都市で、IS最高指導者のバグダディ容疑者が2014年7月に初めて公の場に姿を現した礼拝所ヌーリ・モスクがあり、ISの象徴的な場所だった。

④なぜISは弱体化?

15年にはイラクとシリアに2万~3万人いるとされたISの

MEMO イスラム国(IS) 国際テロ組織アルカイダ系のイスラム教スンニ派武装勢力を源流とする過激派組織。中東民主化運動「アラブの春」がシリアに波及し、反政府デモが本格化、内戦状態に陥り混乱が広がる中で台頭した。モスルを制圧した14年6月には、シリアとイラクにまたがる政教一致国家の樹立を宣言、欧州などで無差別テロを繰り返した。

戦闘員は、イラクと米軍などの有志連合との戦闘などで昨年末には1万2千~1万5千人に減少し、支配領域からの「税収」も大幅に落ち込んでいたとされる。

イラク政府は16年10月、モスル奪還作戦を開始、米軍が特殊部隊派遣と空爆で支援した。奪還作戦では、ISの「人間の盾」にされるなどして市民4万人以上が死亡したとの分析もある。今後は、ISが「首都」とするシリア北部ラッカ奪還が焦点となる。

東南アジアでも活発化

④これでISは壊滅か?

ISの求心力、組織力の低下は必至だ。だが、イラク西部などには、まだ数千人の勢力が残

っている。また「イスラムの敵を殺せば殉教者となり天国に行ける」と信じる海外居住の信奉者もあり、フィリピンなど東南アジアでも活動を活発化させている。IS壊滅には長い時間がかかるだろう。

④モスルの人はどうなる?

モスルは長期にわたる戦闘で住宅や電力など生活基盤が深刻な損害を受けており、推定人口170万の半数以上が家を追われた。生活再建が急務だが、国連は緊急案件だけで10億ドル(約1140億円)以上が必要と見積もっている。スンニ派とシーア派の宗派対立、広がる格差、脆弱な統治など根本的な問題は残ったままだ。国民の不満が鬱積すれば、新たな過激派がつけ込む懸念は消えない。

ノーベル平和賞
劉曉波氏が死去

劉曉波氏(共同通信提供)

長期間拘束、政府に批判

獄中でノーベル平和賞を受賞した中国の民主活動家、劉曉波氏が7月13日、肝臓がんによる多臓器不全のため遼寧省瀋陽市の病院で死去した。61歳だった。中国における民主化運動の象徴的な存在で、中国政府は劉氏を長期間拘束し容体悪化後も自由に治療を受けることを認めなかっとして中国政府への批判が相次いだ。

中国の民主活動家「勇気ある闘士」

行が続いていた。

劉氏の死去を受けて、「自由への偉大な闘士だった」(マクロン仏大統領)とその生涯をたたえ、「勇気ある闘士の死を悲しんでいる」(メルケル独首相)とその死を悼む声が次々に寄せられた。同時に、欧米諸国や人権擁護団体からは、劉氏を長期間拘束し容体悪化後も自由に治療を受けることを認めなかっとして中国政府への批判が相次いだ。

一党独裁への批判続け

1955年に吉林省で生まれた劉氏は89年の天安門事件に至る民主化運動を指導し、投獄された。出所後も「出国すれば影響力が低下する」として北京にとどまり、言論を武器に共産党批判を続けてきた。2008年12月、共産党の一党独裁体制廃止などを訴えた「〇八憲章」を起草したとして拘束され10年2月に国家政権転覆扇動罪で懲役11年の実刑判決が確定した。

服役中の同年12月、中国で基本的人権のために非暴力的な手段で闘ってきたことが評価され、国内に住む中国人として初めてノーベル平和賞が贈られた。だが、授賞式には出席できず、妻の劉霞さんの代理出席も認められなかった。

劉霞さんも法的な根拠がないまま長期間軟禁され、その間に相次いで家族が他界したことで精神状態が悪化しており、国際社会からは劉霞さんの解放や出國を求める声が高まっている。

統計検定11月試験

試験日 2017年11月26日(日)

種別 1級・2級・3級・4級

統計調査士・専門統計調査士

JSSC

総務省後援

統計検定

Japan Statistical Society Certificate

ビッグデータ時代を迎え、大量のデータの中から有用な情報を取り出し、データに基づいてより良い意思決定をおこなえる人材が求められています。そのような人材になるには、統計的な考え方を理解し、統計学の手法を実際の問題に応用する力を身につけることが重要です。「統計検定」は統計学の体系に基づき、統計的な考え方の理解や統計学の手法に関する知識を評価し認定します。

統計検定11月試験

試験日 2017年11月26日(日)

種別 1級・2級・3級・4級

統計調査士・専門統計調査士

統計検定とは

「統計検定」とは統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験です。データに基づいて概観的に判断し科学的に問題を解決する能力は仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く認められています。日本統計学会は中高生・大学生・職業人を対象に各レベルに応じて体系的に認定用性のある統計活用能力評価システムを開発し統計検定として資格認定します。

統計検定の歴史

2011年11月20日は第1回目の「統計検定」が実施されました。この時は大学基礎課程相当における統計の知識を評価するための2級、高等学校卒業段階相当の3級、中学校卒業段階相当の4級と統計調査士、専門統計調査士の5級の試験が行われました。2012年11月19日の第2回目から認定する資格を大学専門課程相当の1級まで拡大しました。2014年からは2級と4級を年2回(6月と11月)実施しています。

統計検定の種類

1級	実社会での様々な分野でのデータ解析を遂行する統計専門力
準1級	統計学の活用力 — データサイエンスの基礎 —
2級	大学基礎統計学の知識と問題解決力
3級	データの分析において重要な概念を身に着け、身近な問題に活かす力
4級	データや表・グラフ、確率に関する基本的な知識と具体的な文脈の中での活用力
統計調査士	統計に関する基本的知識と活用法
専門統計調査士	調査全般に関わる高度な専門的知識と活用法

受験方法と手続き

◆一般統計会場にて個人で受験 (一般会場個人受験)
統計検定センターが準備した会場で受験します。統計検定センターのウェブサイトまたは申込用紙を用いて申込をします。

受験申込受付期間
・Web申込 2017年9月6日(水)～2017年10月13日(金)
・郵送申込 2017年9月6日(水)～2017年10月13日(金) 必着

◆一般統計会場にて団体で受験 (一般会場団体受験)
統計検定センターが準備した会場で受験します。10名以上のグループで受験をすると受験料が10%割引になります。代表者の方を決めて統計検定センターまでご連絡ください。

受験申込受付期間
2017年9月6日(水)～2017年10月11日(水)

◆団体特設会場で受験
他にも会場を教育機関内に設置する団体特設会場で受験する方法がございます。統計検定ウェブサイトをご参照ください。

